

2 0 2 4 年度

事業報告書

自 2 0 2 4 年 4 月 1 日

至 2 0 2 5 年 3 月 3 1 日

2024 年度 事業報告書

1. 事業環境

3 年半にわたるコロナの影響が収束し、景気が緩やかに回復しつつある中、海外では各地の紛争や中国における景気の減速、アメリカの今後の政策の不透明さに引きずられ、輸出入をはじめとする経済活動に影響が出てくるものと思われます。

国内においては、あらゆる物価の高騰、人件費の上昇はあるものの、インバウンド需要の回復、設備投資動向は堅調に推移しています。

2. 事業概要

このような事業環境の中、2024 年度は、国内の化学プラントで大型定期修理が重なるメジャー定修の年に当たり、会員各社とも多忙な年となりました。4 月から適用が開始された建設業における時間外労働の上限規制には苦慮しながらも適切に対応してきました。

メンテナンス業界においては、原材料の価格高騰や資材不足、人件費の上昇などがありました。が、石油・化学プラントの定修工事に加え、設備の老朽化に伴う更新投資や、脱炭素に向けた環境対応投資などの案件があり、各会員会社の抱える工事量としては堅調に推移しております。

工業会としては、理事会や各種委員会は、年初計画に基づき、それぞれのテーマについて、Web 会議を併用し活発に活動を行いました。

フランチ締結技能講習制度については 3 年半経過し、認定講師および講習受講者数は年々増加し、様々な広報活動や設備オーナーへの認知度アップにより、会員数の増加にも寄与しています。

3. 会員数の現況

2024 年度の会員数の推移は次表のとおりです。(昨年度数値見直し後)

種別 \ 項目	2024 年 3 月 31 日現在	2024 年度 会員数の推移			2025 年 3 月 31 日現在
		増 加	減 少	増減差引	
正 会 員	113	10	-1	9	122
賛助会員	29	4	-1	3	32

【入会】

(正会員) ①トルクマックス ②東京エネシス ③新田管工 ④常盤工業 ⑤岡田工業
⑥布川産業 ⑦コスモエンジニアリング ⑧新星工業 ⑨エムズ工業 ⑩デュコル
(賛助会員) ①エム・ソフト ②三菱ケミカル ③スリーエム ジャパン ④スターライト工業

【退会】

(正会員) ①東栄技工
(賛助会員) ①三利特殊鋼株式会社

4. 主要行事について

4-1. 通常総会、セミナー、表彰式、懇親会

日時：2024年6月6日 14時00分～18時15分

会場：如水会館 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番1号

(1) 通常総会（オリオン）

出席：正会員121名中110名出席（出席45名、委任状65名）

議事：第1号議案 2023年度事業報告書・収支決算書について

第2号議案 2024年度事業計画書・収支予算書について

（議案は原案どおり可決）

(2) 講演会（スターホール）

参加：131名

題目：「デジタルの力で未来を拓くメンテナンスの新しい世界
～テクノロジーがもたらす社会の変革～」

講師：武田 幸治 氏（富士通株式会社 シニアエバンジェリスト）

(3) 表彰式（スターホール）

参加：140名

第8回日本メンテナンス工業会表彰

受賞：マイスター賞5件、技術賞1件、奨励・普及賞2件

(4) 懇親会（スターホール）

参加：152名

4-2. 第8回日本メンテナンス工業会表彰

申請件数：マイスター賞5件、技術賞1件、奨励・普及賞2件

受賞者：

・メンテナンスマイスター賞

・日鉄テックスエンジニア(株) 渡邊 雄二 氏

・山九重機工(株) 油井 勝之 氏

・JFEプラントエンジニア(株) 松浦 健治 氏

・日鉄テックスエンジニア(株) 池田 裕之 氏

・(株)高田工業所 寺地美木男 氏

・メンテナンス技術賞

・(株)中部プラントサービス 神保 吉秀 氏

・メンテナンス奨励・普及賞

・(株)サンキュウリサーチアンドクリエイティブ 中上 裕尚 氏

・JFEプラントエンジニア(株) 桃木 誠 氏

4－3．見学会

日時：2024年10月25日（金） 12時30分～16時10分
会場：米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ [Nesrad]
（山梨県甲府市下向山町 3147）
参加：30名

4－4．賀詞交歓会

日時：2025年1月16日 11時30分～12時50分
会場：如水会館 スターホール 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番1号
参加：76社193名（145社中）
来賓：経済産業省 製造産業局 産業機械課
課長 須賀 千鶴 様 （ご挨拶）
係長 古志 知也 様
アクトアドバイザーズ税理士法人
代表社員（顧問税理士） 杵淵 祥志 様

5．理事会の概要

5－1．年初計画

第1回 2024年5月16日（木）
第2回 2024年9月5日（木）
第3回 2024年12月5日（木）
第4回 2025年3月6日（木）

5－2．実績

第1回 2024年5月16日 如水会館とWeb併用（全議案→可決）
議事：第1号議案 役員の一部交代案について
第2号議案 正会員入会について
第3号議案 2024年度 通常総会について
第4号議案 2023年度事業報告書案及び収支決算書案について
第5号議案 2024年度事業計画書案及び収支予算書案について
第6号議案 プラントメンテナンスショーについて

第2回 2023年9月5日 如水会館とWeb併用（全議案→可決）
議事：第1号議案 役員の一部交代案について
第2号議案 正会員入会について
第3号議案 表彰制度について
第4号議案 山梨県次世代エネルギーシステム見学会について

第3回 2023年12月7日 如水会館とWeb併用（全議案→可決）
議事：第1号議案 新年賀詞交歓会について

第4回 2024年3月7日 如水会館とWeb併用（全議案→可決）
議事：第1号議案 2024年度工業会表彰について

6. 委員会活動の概要

6-1. 総務委員会

委員会は、会場と Web 併用で 5 回開催し、理事会の事前審議を行いました。

主な事前審議及び委員会活動は以下の通りです。

1. 通常総会、賀詞交歓会の会場開催
2. 工業会表彰
3. 入会会社の調査：入退会状況 入会（正 10 社・賛 4 社）、退会（正 1 社・賛 1 社）
4. メンテナンスショー(東京)出展ブース運営協力及び 2025 年度メンテナンスショーの企画
5. 日本環境衛生センター「工作物石綿事前調査者講習」テキスト作成支援

6-2. 企画推進委員会

2024 年度は、会場と Web 併用で委員会(連絡会含む)を開催し、主な活動内容は以下の通りです。

1. フランジ締結技能講習制度の維持管理とブラッシュアップ
 - (1) 認定講師審査会：17 回 認定講師:74 名認定(累計:291 名 37 社)
 - (2) 技能講習：受講者 4,700 名（累計：14,000 名）
 - (3) 認定講師連絡会開催：6 回
 - (4) スキルアップ研修：1 回（会場 23 名、Web85 名）
 - (5) メンテナンスショー(東京)実演コーナー運営
 - (6) 設備オーナー様への PR 活動：6 回
 - (7) 本制度賛同入会会社：7 社（累計：26 社）
2. 人材不足対応として、西日本工業大学、新居浜高専、大分県立工科短期大学校に対しメンテナンス講座の講師を務めました。また企業説明会は、西工大 12 社、大分工科短大 3 社が参加しリクルート活動を行いました。
3. 厚労省(日本環境衛生センター)「工作物の石綿事前調査者講習テキスト」検討会（テキスト見直し）への参画（1 回）
4. 経産省（石油化学工業協会）メンテナンス要員について打合せ（1 回）

6-3. 調査統計委員会

2024 年度事業計画に基づき主要項目を報告致します。

- 1) 会員企業 1 年調査実施を実施しました。
 - ・会員企業 156 社の内 114 社からの回答が得られその内容を分析、精査し纏めました。
- 2) 長時間労働に関するアンケート調査を実施しました。
 - ・101 社 964 件のアンケート回答結果が得られ項目毎、分類別に内容を分析、精査し纏めました。
- 3) 2024 年問題についてアンケート調査を実施しました。
 - ・79 社 176 件の回答結果が得られました。
 - 今回は 2024 年問題のそれぞれの取組みの実態と成果について質問し、得られた結果を纏めました。

上記の纏めを会報 113 号に掲載しました。

6-4. 広報活動委員会

委員会は、会議室と Web 併用で 4 回開催し、主な活動内容は以下の通りです。

1. 会報内容の充実

- ・会報 113 号は、プラントメンテナンスショーへの出展企業や JAMSEC ブースでのセミナー実施企業が多く、過去最大のページ数で発行。
- ・メンテナンスに関する技術や特集の掲載

2. ホームページの充実

- ・ホームページにファビコン（HP タグのシンボルマーク）追加
- ・新着情報（TOPICS）を充実し掲載

3. プラントメンテナンスショーに出展する会員企業の取材など。

2024 年度プラントメンテナンスショーは、東京（7 月）で開催されました。当会は、特別協賛として出展した。（東京 ビッグサイト東展示棟）

2024 年度は、日本能率協会との連携により 12 小間の広いブースで出展し、展示会の充実を図りました。

6-5. 教育研修委員会

メンテナンスの高度化、高付加価値化を目指すための研修会などの企画また、学生への PR 活動など以下に実施いたしました。

1 研修会の企画運営

（1）講演会（通常総会時）6 月 6 日実施

講演者 武田 幸治氏（富士通株式会社 シニアエバンジェリスト）

題目「デジタルの力で未来を拓くメンテナンスの新しい世界

～テクノロジーかがもたらす社会の変革～」

参加者 123 名

（2）工場見学 10 月 25 日実施

山梨県次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ見学

参加者 30 名

2 大学・高専講座に対する支援

（1）西日本工業大学講座 12 月 24 日 1 月 7 日 21 日実施

講義会社：工業会・アズビル・中部プラントサービス

企業説明会：6 月 24 日、11 月 11 日、18 日、25 日 計 12 社参加

（2）新居浜高専講座 8 月 19 日 10 月 21 日 12 月 2 日実施

講義会社：アズビル・工業会・横河ソリューションサービス

（3）新たな提携検討

大分県立工科短期大学校講座 11 月 13 日実施

講義会社：工業会・山九

企業説明会：3 月 3 日 会員会社 4 社参加

新たな取り組みとして、学校からの要望もあり、若手社員と学生との懇談を実施。

6-6. 法令・規格委員会

2024 年度は、会場と WEB 併用で委員会を 6 回開催し、主に以下の活動を行いました。

1. 各省庁の協議会・部会等の重要報告

- ・各省庁の協議会・部会等では大きな動きはありませんでした。
- ・担い手 3 法（公共工事の品質確保の促進に関する法律、建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律）の改正が行われ、その説明会への参加、資料収集、とりまとめを行いました。

2. 長時間労働改善に繋がる ICT ツールに関するアンケート

アンケート結果をまとめ、工業会内の ICT 活用事例の共有として、会報 112 号に掲載しました。社内の情報共有ツールを各社で活用しているという状況でした。

6-7. 評価提案委員会

委員会の基本活動として次の 2 点について行いました。

1. 工業会表彰制度の制度定着化

- ① 課題を把握し、より充実した表彰制度を目指し、表彰制度の実態調査（2023 年度版）を実施しました。その結果、各賞とも応募は減少傾向にあり、また、例年、大規模会社が大半を占め応募会社の偏りが明らかになりました。対応策として、今年度より表彰規定を見直し、中小会員会社や協力会社(会員推薦)でご活躍される方にも広く応募ができるように、メンテナンススペシャリスト賞を新設しました。合わせて、メンテナンス技術賞およびメンテナンス奨励・普及賞も条件を一部変更し応募をやすくしました。
- ② 申請数は、16 件 13 社、昨年は 8 件 6 社で、昨年と比べると申請件数は 8 件、申請会社は 7 社増えほぼ倍増となりました。また、新規応募会社は、新設したスペシャリスト賞で、中小規模会員企業 1 社、会員会社推薦の協力会社 4 社の応募があり、表彰制度見直しによる偏りの改善を確認することができました。詳細は、表彰制度実態調査報告 2024 年度版として取り纏めました。
- ③ 審査結果は、応募 16 件中、マイスター賞 5 件、スペシャリスト賞 5 件、技術賞 3 件、奨励・普及賞 2 件で、合計 15 件が受賞となり、昨年度に引き続き高い受賞率となりました。
- ④ 申請内容の確認・修正指導を含めた全体工程を設けることで、申請元からの追加資料の提出や申請内容の指導を行う期間を確保し評価を実施しています。その結果、近年の高受賞率に繋がっていると考えています。

2. 業界の実態調査見直し検討

「メンテナンス業界」の実態を報告した、2009 年「稼働人員実態調査」の内容を見直し、再調査に向け最新情報の収集と課題の抽出を実施しました。

6-8. 技術研究委員会

- ① 7 月に開催されたメンテナンスショーでは会員企業若手中心に不要になった作業服を原料としたアップサイクル（いらなくなったものや廃棄されるものに手を加えて、今までよりも価値の高いものにつくり変えること）品を展示しました。また、会員・賛助会員会社によるミニセミナーも開催しました。JAMSEC をアピールする良い機会となりました。
- ② 現場作業の省力化技術については「ボルト締結に関する技術」や「切削作業における作業効率向上と働き方改革」の技術・製品を紹介しました。また、「チタン材を用いた恒久防食対策」に関する新工法も紹介しました。
- ③ 官公庁の会合については事務局にての対応となりました。
- ④ 今後の委員会については「会員企業における技術・技能の伝承へのサポート」「これまで培われてきた技術・技能の紹介」「次世代への教育手法の提案」などが提案され次年度以降に実施していくことになりました。

以上